

平成13年3月期 決算短信 (連結)



平成13年5月15日

会社名 理想科学工業株式会社

登録銘柄

コード番号 6413

本社所在都道府県 東京都

本社所在地 東京都港区新橋2丁目20番15号

問い合わせ先 東京都港区芝5丁目34番7号

責任者役職名 経 理 部 長

TEL(03)5441-6604

氏 名 齋 田 知 男

決算取締役会開催日 平成13年5月15日

米国会計基準採用の有無 有・無

1. 13年3月期の連結業績(平成12月4月1日~平成13年3月31日)

(1)連結経営成績

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|--------|--------|--------|-------|---------|-------|---------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 13年3月期 | 78,264 | (1.9) | 3,749 | (45.7) | 3,543 | (45.5) |
| 12年3月期 | 79,771 | (6.6) | 6,906 | (31.1) | 6,507 | (25.7) |

| | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | 株主資本 当期純利益率 | | 総資本 経常利益率 | | 売上高 経常利益率 | |
|--------|-------|---------|----------------|----|-----------------------|----|----------------|-----|--------------|---|--------------|--|
| | 百万円 | % | 円 | 銭 | 円 | 銭 | % | % | % | % | | |
| 13年3月期 | 1,828 | (39.6) | 124 | 47 | 121 | 39 | 3.1 | 2.9 | 4.5 | | | |
| 12年3月期 | 3,025 | (23.9) | 201 | 37 | 186 | 78 | 5.1 | 5.4 | 8.2 | | | |

(注) 1. 持分法投資損益 13年3月期 - 百万円 12年3月期 - 百万円

2. 期中平均株式数(連結) 13年3月期 14,692,634株 12年3月期 15,025,817株

3. 会計処理の方法の変更 (有)・無

4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2)連結財政状態

| | 総資産 | | 株主資本 | | 株主資本比率 | | 1株当たり株主資本 | |
|--------|---------|--|--------|--|--------|-------|-----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 13年3月期 | 123,266 | | 59,631 | | 48.4 | 4,079 | 76 | |
| 12年3月期 | 119,715 | | 58,533 | | 48.9 | 3,980 | 14 | |

(注) 期末発行済株式数(連結) 13年3月期 14,616,481株 12年3月期 14,706,402株

(3)連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | | 投資活動による キャッシュ・フロー | | 財務活動による キャッシュ・フロー | | 現金及び現金同等物 期末残高 | |
|--------|----------------------|--|----------------------|--|----------------------|--|-------------------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | |
| 13年3月期 | 7,233 | | 12,348 | | 21 | | 38,780 | |
| 12年3月期 | 3,878 | | 841 | | 1,033 | | 43,528 | |

(4)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 25社 持分法適用非連結子会社数 0社 持分法適用関連会社数 0社

(5)連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 1社 (除外) 3社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

2. 14年3月期の業績予想(平成13月4月1日~平成14年3月31日)

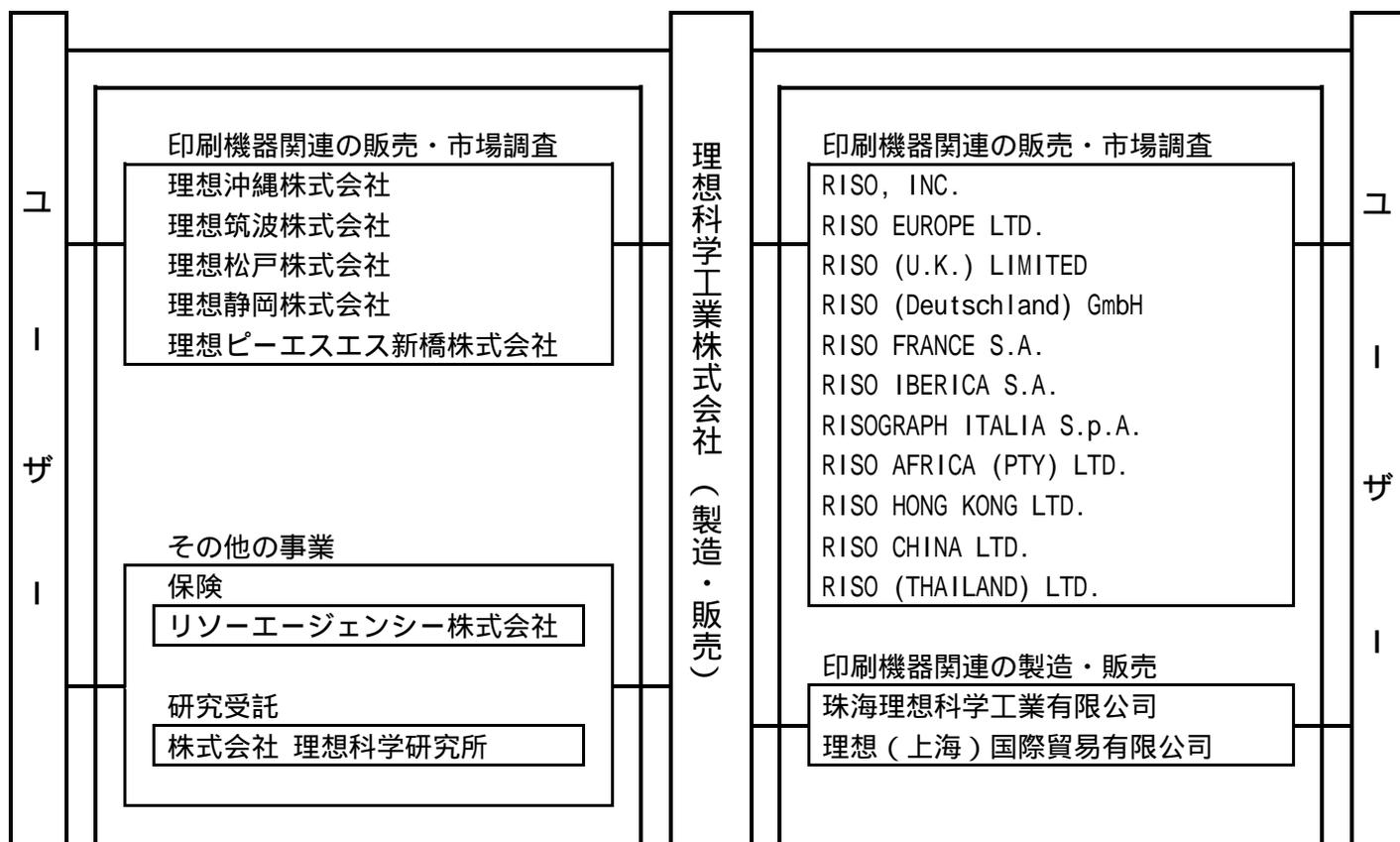
| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-----|--------|--|-------|--|-------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | |
| 中間期 | 35,800 | | 400 | | 100 | |
| 通期 | 79,500 | | 4,000 | | 2,200 | |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 150円 52銭

(1) 企業集団の状況

当企業集団は理想科学工業株式会社（当社）および子会社 25 社により構成されており、事業は、印刷機器関連の製造・販売を主に行っているほか、市場調査・研究開発の受託・ならびに保険代理業を営んでおります。

事業内容と当社及び関係会社の当該事業にかかる位置付けを図示すると次のとおりであります。



1. RISOGRAPH ITALIA S.p.A.は、平成 12 年 7 月 20 日に設立致しました。

(2) 経営方針及び経営成績

1. 経営方針

a. 中長期経営戦略の基本方針

当社では「世界に類のないものを創る」を開発方針とし、孔版技術を中心に積極的な商品開発を通じて事業を拡大してまいりました。パソコンの急速かつグローバルな普及や、IT関連技術の進歩等、当社を取り巻く事業環境の激変にもいち早く対応し、多枚数領域での最適なプリントソリューションの提供を通じて、売上の拡大と利益の追求を図ってまいりました。

当社は、今後さらに収益力を強化するために、中長期経営の基本方針として、以下の5項目を掲げ、全社を挙げて取り組みつつあります。

開発・製造部門の効率化、コストダウンの徹底

内外営業の収益安定強化

新規商品開発およびサービス事業開発の推進

海外生産の積極展開

無駄のない筋肉質の企業体質への転換

以上の基本方針に則った諸活動により、企業体質の抜本的転換を図るとともに、収益体質の強化に努め、経営指標としてのROEおよび営業利益率の改善を目指す所存であります。

また、当社は世界規模で重要度が増している環境保全に対しても積極的に取り組んでおり、そのステップのひとつとして開発・設計・製造・出荷を担う筑波事業所において、「ISO14001」の認証を取得いたしました。今後も経営の重要なテーマとして社内各部門にて活発に取り組む方針であります。

b. 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、企業体質を強化しつつ、業績に裏づけられた成果の配分を行うことを基本方針としております。

株主に対する配当金もこの基本方針に基づき、収益の状況に応じた適正な手続により、安定配当を継続したいと存じます。

当期におきましても、この方針に基づき、配当金は一株当たり50円(前期同額)を予定しております。

c. 会社の経営管理組織の整備に関する施策

取締役会をはじめとする経営管理組織については、制度の将来像を展望しつつ、コーポレートガバナンス充実を図り、事業環境の変化に迅速に対応できるよう一層その整備充実に努めてまいります。

なお、その一環として当社では、平成12年3月期より『執行役員制度』を導入しております。

2. 経営成績

a. 当期の概況

当期におけるわが国経済を概観いたしますと、IT関連需要の拡大から設備投資が誘発され、民需主導の景気回復が期待されましたが、生命保険会社の破綻・銀行の不良債権処理の遅延などの影響で消費は低迷し、株式市場も下落を続け、景気は減速しはじめました。また、好調を持続してきた米国経済は、株価の低迷による逆資産効果から減速しつつあり、連邦準備銀行は、金利引下げにより対応していますが、世界経済のリーダーであった米国の景気の減速は、欧州・アジアの景気にも影響を与えるものと思われます。

このような経済状況の中で当社グループは、積極的な営業展開に力を注ぐ一方、国内市場に対しては順次新製品を投入いたしました。

そのひとつ『RISO V8000』は、世界初の一体型同時二色印刷機で、多色化ニーズに応えるとともに、新たな付加価値を創出することによる需要拡大が期待されます。

また、ネットワーク環境での多枚数プリンターとしては、機能を従来より充実させた『RISO RP/リソグラフ RPシリーズ』を発売いたしました。

一方海外市場におきましては、新興成長市場向け低価格印刷機『RISO KS500』を開発、中国における合弁会社にて本格的な生産を開始し、さらに販売網強化の一環として、イタリア・ミラノ市に「リソグラフ・イタリア」を設立いたしました。

以上のような活動の結果、当期の連結売上高は782億6千4百万円（前期比1.9%減）となりました。

当期の販売実績を地域別に概観しますと、国内では事務用印刷機リソグラフ関係が前年並の売上高で推移しましたが、簡易印刷機プリントゴッコの不振が影響し、その結果売上高は413億円（前期比4.9%減）となりました。

米州におきましては、北米では販路再編の影響等もあり競争が激化、また中南米では、政情・通貨不安のため、積極策への展開を果たせず、よって販売は当初予定を下回りました。その結果売上高は158億円（前期比7.6%減）となりました。

欧州におきましては、各現地販売子会社の業績は順調に推移いたしましたが、ユーロ安の影響で、結果として売上高120億円（前期比0.0%減）となりました。

アジアにおきましては、各販売子会社の業績が順調に推移したほか、中国では今後の新製品を含む商品展開に向けた販売網整備が順調に進みつつあります。その結果売上高は90億円（前期比27.6%増）となりました。

また、利益面におきましては、売上減による利益の減少を回避すべく、諸経費圧縮に努めましたが、経常利益は35億4千3百万円（前期比45.5%減）、当期純利益は18億2千8百万円（前期比39.6%減）となりました。

b. 次期の見通し

今後のわが国経済は、政府の経済対策により景気回復の期待がある一方、解決すべき課題も多く、先行きの不透明感は容易に解消せず、長期にわたる停滞局面を覚悟する必要があると思われます。主力商品の事務用印刷機リソグラフ関係は、新製品投入による売上の伸展が期待されますが、簡易印刷機プリントゴッコは厳しい状況が続きます。よって、全般的には当期と同水準で推移するものと予想しております。

また、米国におきましては景気の減速の影響を受け、売上の大幅伸展は厳しいと見込まれますが、欧州では、販売子会社の拡販により業績は好転し、中国・アジア市場においては、低価格印刷機の拡販を主因とする売上増加を想定しております。

このような経営環境のもと、当社グループは新孔版事業の効率化による収益力強化と時代を先取りす

る新製品の開発により、高収益化実現に邁進する所存であります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高795億円（前期比1.6%増）経常利益40億円（前期比12.9%増）、当期純利益22億円（前期比20.3%増）を予定しております。

なお、次期業績見通しにおける為替レートは、米ドル108円、ユーロ100円を前提としております。

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

(3) 連結財務諸表等

1. 比較連結貸借対照表

(単位 千円)

| 科 目 | 当 期 (平成13年3月31日現在) | | 前 期 (平成12年3月31日現在) | | 増 減 |
|-------------------|-----------------------|-------|-----------------------|-------|----------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | |
| (資 産 の 部) | | % | | % | |
| . 流 動 資 産 | [76,676,188] | 62.2 | [84,525,487] | 70.6 | [7,849,299] |
| 現金及び預金 | 35,678,993 | | 34,842,768 | | 836,225 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,259,717 | | 15,867,221 | | 392,496 |
| 有 価 証 券 | 7,446,841 | | 18,544,343 | | 11,097,502 |
| た な 卸 資 産 | 12,533,381 | | 11,265,081 | | 1,268,300 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 2,571,411 | | 2,746,222 | | 174,810 |
| そ の 他 | 2,715,643 | | 1,676,532 | | 1,039,111 |
| 貸 倒 引 当 金 | 529,800 | | 416,681 | | 113,118 |
| . 固 定 資 産 | [46,590,526] | 37.8 | [35,190,322] | 29.4 | [11,400,204] |
| 有 形 固 定 資 産 | [29,634,707] | 24.0 | [27,830,305] | 23.2 | [1,804,402] |
| 建 物 及 び 構 築 物 | 6,398,115 | | 6,835,635 | | 437,519 |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具 | 1,727,981 | | 1,929,728 | | 201,747 |
| 工 具 器 具 備 品 | 7,399,155 | | 4,996,057 | | 2,403,097 |
| 土 地 | 14,010,276 | | 14,010,276 | | - |
| 建 設 仮 勘 定 | 99,178 | | 58,606 | | 40,571 |
| 無 形 固 定 資 産 | [2,103,145] | 1.7 | [1,474,177] | 1.2 | [628,968] |
| ソ フ ト ウ エ ア | 1,409,711 | | 767,558 | | 642,153 |
| そ の 他 | 693,433 | | 706,618 | | 13,185 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | [14,852,674] | 12.1 | [5,885,839] | 4.9 | [8,966,834] |
| 投 資 有 価 証 券 | 9,914,637 | | 1,536,178 | | 8,378,458 |
| 長 期 貸 付 金 | 506,461 | | 510,198 | | 3,736 |
| 長 期 前 払 費 用 | 109,236 | | 150,579 | | 41,342 |
| 差 入 保 証 金 | 1,571,402 | | 1,592,163 | | 20,760 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 1,328,380 | | 618,912 | | 709,468 |
| そ の 他 | 1,987,296 | | 1,581,657 | | 405,639 |
| 貸 倒 引 当 金 | 564,741 | | 103,850 | | 460,891 |
| 資 産 合 計 | 123,266,715 | 100.0 | 119,715,809 | 100.0 | 3,550,905 |

(単位 千円)

| 科 目 | 当 期 | | 前 期 | | 増 減 |
|-----------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|
| | (平成13年3月31日現在) | | (平成12年3月31日現在) | | |
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | |
| (負 債 の 部) | | % | | % | |
| . 流 動 負 債 | [43,025,151] | 34.9 | [30,333,191] | 25.3 | [12,691,959] |
| 支払手形及び買掛金 | 17,229,590 | | 16,195,884 | | 1,033,705 |
| 短期借入金 | 6,898,923 | | 4,611,048 | | 2,287,874 |
| 一年内返済長期借入金 | 8,739 | | 10,094 | | 1,354 |
| 一年内償還予定転換社債 | 10,000,000 | | - | | 10,000,000 |
| 未払法人税等 | 1,701,813 | | 2,333,851 | | 632,038 |
| 賞与引当金 | 1,344,373 | | 1,472,805 | | 128,431 |
| 製品保証引当金 | 49,625 | | 108,288 | | 58,663 |
| 設備支払手形 | 686,185 | | 349,040 | | 337,144 |
| その他 | 5,105,900 | | 5,252,179 | | 146,278 |
| . 固 定 負 債 | [19,962,408] | 16.2 | [30,066,859] | 25.1 | [10,104,451] |
| 転換社債 | 17,191,000 | | 27,821,000 | | 10,630,000 |
| 長期借入金 | 138,783 | | 160,166 | | 21,382 |
| 退職給与引当金 | - | | 2,034,777 | | 2,034,777 |
| 退職給付引当金 | 1,738,472 | | - | | 1,738,472 |
| 役員退職慰労引当金 | 865,613 | | - | | 865,613 |
| 連結調整勘定 | 28,538 | | 38,642 | | 10,104 |
| その他 | - | | 12,272 | | 12,272 |
| 負 債 合 計 | 62,987,559 | 51.1 | 60,400,050 | 50.4 | 2,587,508 |
| 少 数 株 主 持 分 | 647,365 | 0.5 | 782,146 | 0.7 | 134,781 |
| (資 本 の 部) | | | | | |
| . 資 本 金 | 14,114,488 | 11.5 | 14,114,488 | 11.8 | - |
| . 資 本 準 備 金 | 14,779,010 | 12.0 | 14,666,880 | 12.3 | 112,130 |
| . 連 結 剰 余 金 | 32,211,293 | 26.1 | 31,461,446 | 26.3 | 749,847 |
| . その他有価証券評価差額金 | 590,421 | 0.5 | - | - | 590,421 |
| . 為替換算調整勘定 | 882,540 | 0.7 | 1,708,805 | 1.4 | 826,264 |
| . 自 己 株 式 | 40 | 0.0 | 398 | 0.0 | 357 |
| 資 本 合 計 | 59,631,790 | 48.4 | 58,533,611 | 48.9 | 1,098,178 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 123,266,715 | 100.0 | 119,715,809 | 100.0 | 3,550,905 |

2. 比較連結損益計算書

(単位 千円)

| 期 別 科 目 | 当 期 〔自平成12年4月1日〕 〔至平成13年3月31日〕 | | 前 期 〔自平成11年4月1日〕 〔至平成12年3月31日〕 | | 増 減 |
|--|--------------------------------------|-------|--------------------------------------|-------|-------------|
| | 金 額 | 百分比 | 金 額 | 百分比 | |
| | | % | | % | |
| . 売 上 高 | 78,264,270 | 100.0 | 79,771,015 | 100.0 | 1,506,745 |
| . 売 上 原 価 | 38,721,791 | 49.5 | 36,128,567 | 45.3 | 2,593,223 |
| 売 上 総 利 益 | 39,542,479 | 50.5 | 43,642,448 | 54.7 | 4,099,969 |
| . 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | 35,793,083 | 45.7 | 36,735,927 | 46.1 | 942,843 |
| 営 業 利 益 | 3,749,395 | 4.8 | 6,906,520 | 8.7 | 3,157,125 |
| . 営 業 外 収 益 | [1,140,576] | 1.4 | [698,595] | 0.9 | [441,981] |
| 受 取 利 息 | 260,162 | | 293,210 | | 33,047 |
| 連 結 調 整 勘 定 償 却 額 | 10,104 | | 4,515 | | 5,589 |
| 洗 替 低 価 法 に よ る 有 価 証 券 評 価 損 戻 入 益 | - | | 180,945 | | 180,945 |
| 為 替 差 益 | 509,711 | | - | | 509,711 |
| そ の 他 | 360,598 | | 219,924 | | 140,673 |
| . 営 業 外 費 用 | [1,346,204] | 1.7 | [1,097,961] | 1.4 | [248,242] |
| 支 払 利 息 | 914,043 | | 659,800 | | 254,243 |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 損 | 127,890 | | - | | 127,890 |
| 為 替 差 損 | - | | 227,697 | | 227,697 |
| そ の 他 | 304,270 | | 210,464 | | 93,805 |
| 経 常 利 益 | 3,543,767 | 4.5 | 6,507,154 | 8.2 | 2,963,386 |
| . 特 別 利 益 | [227,061] | 0.3 | [-] | - | [227,061] |
| 退 職 給 付 会 計 変 更 時 差 異 | 99,298 | | - | | 99,298 |
| 過 年 度 固 定 資 産 除 却 損 修 正 益 | 127,762 | | - | | 127,762 |
| . 特 別 損 失 | [-] | - | [-] | - | [-] |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益 | 3,770,828 | 4.8 | 6,507,154 | 8.2 | 2,736,325 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 2,080,699 | 2.7 | 3,669,221 | 4.6 | 1,588,521 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 76,923 | 0.1 | 142,564 | 0.2 | 65,640 |
| 少 数 株 主 損 失 | 61,773 | 0.1 | 45,189 | 0.1 | 16,584 |
| 当 期 純 利 益 | 1,828,826 | 2.3 | 3,025,687 | 3.8 | 1,196,860 |

3. 比較連結剰余金計算書

(単位 千円)

| 期 別 科 目 | 当 期 〔自平成12年4月1日〕 〔至平成13年3月31日〕 | 前 期 〔自平成11年4月1日〕 〔至平成12年3月31日〕 | 増 減 |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------|
| | 金 額 | 金 額 | |
| . 連結剰余金期首残高 | 31,461,446 | 30,673,583 | 787,862 |
| . 連結剰余金増加高 | [-] | [-] | [-] |
| . 連結剰余金減少高 | [1,078,979] | [2,237,824] | [1,158,845] |
| 1. 配 当 金 | 735,320 | 755,322 | 20,002 |
| 2. 役 員 賞 与 | 61,250 | 82,050 | 20,800 |
| 3. 連結子会社増加に伴う剰余金減少高 | - | 42,883 | 42,883 |
| 4. 連結子会社合併に伴う剰余金減少高 | 120,409 | - | 120,409 |
| 5. 利益による自己株式消却額 | 162,000 | 1,357,569 | 1,195,569 |
| . 当 期 純 利 益 | 1,828,826 | 3,025,687 | 1,196,860 |
| . 連結剰余金期末残高 | 32,211,293 | 31,461,446 | 749,847 |

4. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 千円)

| 科 目 | 期 別 | 前 期 |
|----------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 当 期 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日) | 前 期 (自平成11年4月1日 至平成12年3月31日) |
| | 金 額 | 金 額 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,770,828 | 6,507,154 |
| 減価償却費 | 5,475,989 | 3,731,835 |
| 連結調整勘定償却額 | 10,104 | 4,515 |
| 退職給与引当金の減少額 | 1,441,532 | - |
| 退職給付引当金の増加額 | 1,738,482 | - |
| 役員退職慰労引当金の増加額 | 272,368 | - |
| 貸倒引当金の増加額 | 512,935 | 3,533 |
| 受取利息及び受取配当金 | 260,162 | 304,997 |
| 支払利息 | 914,043 | 659,800 |
| 為替差損益 | 15,691 | 75,924 |
| 洗替低価法による有価証券評価損戻入益 | - | 180,945 |
| 投資有価証券売却損 | 127,890 | - |
| 売上債権の減少額(増加額) | 462,383 | 732,497 |
| たな卸資産の増加額 | 290,234 | 2,032,861 |
| 仕入債務の増加額 | 160,978 | 952,828 |
| 役員賞与の支払額 | 61,959 | 82,833 |
| その他 | 798,794 | 144,674 |
| 小計 | 10,557,410 | 8,737,100 |
| 利息及び配当金の受取額 | 296,864 | 310,162 |
| 利息の支払額 | 895,283 | 684,500 |
| 法人税等の支払額 | 2,725,159 | 4,484,452 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,233,832 | 3,878,310 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 6,102,223 | 6,954,241 |
| 定期預金の払出による収入 | 3,858,000 | 10,403,000 |
| 有価証券の取得による支出 | 299,260 | 100,791 |
| 有価証券の売却による収入 | 99,790 | 560,861 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 7,232,302 | 3,025,873 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 828,705 | 507,162 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 3,786,779 | - |
| 投資有価証券の売却による収入 | 2,226,806 | - |
| 貸付金の貸付による支出 | 3,500 | 230,105 |
| 貸付金の回収による収入 | 38,632 | 56,325 |
| 営業の譲り受けによる支出 | - | 650,250 |
| その他 | 318,846 | 392,842 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 12,348,387 | 841,079 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増加額 | 1,507,010 | 536,537 |
| 長期借入れによる収入 | 8,000 | 1,330 |
| 長期借入金の返済による支出 | 23,352 | 32,740 |
| 社債の償還による支出 | 573,564 | - |
| 自己株式の取得による支出 | 162,470 | 1,359,307 |
| 少数株主への株式の発行による収入 | - | 579,360 |
| 配当金の支払額 | 734,942 | 761,876 |
| その他 | 827 | 3,034 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 21,508 | 1,033,661 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 345,683 | 298,480 |
| 現金及び現金同等物の(減少額)増加額 | 4,747,362 | 1,705,089 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 43,528,072 | 41,816,143 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | - | 6,840 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 38,780,709 | 43,528,072 |

5. 連結財務諸表作成の基本となる重要な事項

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社 25社を連結しております。

主要な連結子会社の名称

RISO, INC.

RISO (Deutschland) GmbH

RISO FRANCE S.A.

珠海理想科学工業有限公司

2. 持分法の適用に関する事項

子会社はすべて連結しております。なお、関連会社がないため持分法は適用しておりません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、RISO DE MEXICO S. A.、理想(上海)国際貿易有限公司、珠海理想科学工業有限公司の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成に当たって、これらの会社については、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

主として移動平均法に基づく原価法。

有価証券

[その他有価証券]

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法(差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物(建物付属設備を除く)については、定額法を、建物以外の有形固定資産については、主として定率法を採用しております。

無形固定資産

定額法。

なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年間)に基づく定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、親会社、国内子会社、及び一部の在外子会社は賞与支給見込額に基づき計上しております。

製品保証引当金

親会社は保証期間内製品の補修部品費用の支出に備えるため、過去の実績に基づく発生見込額を計上しておりますが、子会社は当該基準による計上はありません。

退職給付引当金

親会社は従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

役員退職慰労引当金

親会社は役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 重要な外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し換算差額は損益として処理しております。

なお、在外子会社の資産及び負債は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は資本の部における為替換算調整勘定に含めております。
(会計方針の変更)

在外子会社の財務諸表の換算は、従来決算時の為替相場を適用しておりましたが(資本に属する項目は親会社における株式取得時の為替相場)当連結会計年度より、収益及び費用については期中平均相場による換算に変更しております。

この変更は在外連結子会社の重要性が増加したことに伴い、連結会計年度を通じて発生する収益及び費用の各項目に対して、より実状に即した換算を行うためのものです。この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

(5) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) 重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。なお、為替予約について振当処理の要件を満たしている場合は振当処理を採用しております。

ヘッジ手段と対象

外貨建債権債務に係る為替リスク回避のための為替予約取引

ヘッジ方針

外貨建債権債務に係る為替相場変動によるリスク回避のため、実需の範囲内でデリバティブ取引を利用しており、投機的なデリバティブ取引は行っておりません。デリバティブ取引については、社内規則に従って管理を行っております。

ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ手段とヘッジ対象の重要な条件は一致しているため、ヘッジ有効性の評価は省略しております。

(7) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

5. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項

連結子会社の資産及び負債の評価については、全面時価評価法を採用しております。

6. 連結調整勘定の償却に関する事項

連結調整勘定の償却については、発生年度以降5年間で均等償却しております。

7. 利益処分項目等の取扱いに関する事項

連結会社の利益処分については、連結会計年度中に確定した利益処分に基づいて作成しております。

8. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

9. 表示方法の変更

前連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました退職給付引当金増加高(前連結会計年度においては退職給与引当金増加高 150,421 千円)役員退職慰労引当金増加高(前連結会計年度 248 千円)は、金額的重要性が増したため、当連結会計期間より独立掲記しております。

10. 追加情報

(1) 退職給付会計

当連結会計期間から退職給付に係る会計基準(「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成10年6月16日))を適用しております。この結果、従来の方法によった場合と比較して、退職給付費用が1,742千円増加し、経常利益は1,742千円、税金等調整前当期純利益は1,742千円減少しております。

また、退職給与引当金及び企業年金制度の過去勤務債務等に係る未払金は、退職給付引当金に含めて表示しております。なお、会計基準変更時差異(99,298千円)については、当連結会計期間に全額特別利益として処理しております。

(2) 金融商品会計

当連結会計期間から金融商品に係る会計基準(「金融商品に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成11年1月22日))を適用し、有価証券の評価方法について変更しております。この結果従来の方法によった場合と比較して、経常利益は908,626千円、税金等調整前当期純利益は908,626千円増加しております。

また、期首時点で保有する有価証券の保有目的を検討し、その他有価証券に含まれている有価証券のうち、1年以内に満期の到来するものは流動資産の有価証券として、それら以外は投資有価証券として表示しております。その結果、流動資産の有価証券は8,643,352千円減少し、投資有価証券は8,643,352千円増加しております。

(3) 外貨建取引等会計処理基準

当連結会計会計期間から改訂後の外貨建取引等会計処理基準(「外貨建取引等会計処理基準の改訂に関する意見書」(企業会計審議会 平成11年10月22日))を適用しております。この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

〔注記事項〕

(連結貸借対照表関係)

| | 当 期 (平成13年3月31日現在) | 前 期 (平成12年3月31日現在) |
|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1.有形固定資産の減価償却累計額 | 30,248,461 千円 | 26,716,805 千円 |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| | 当 期 (平成13年3月31日現在) | 前 期 (平成12年3月31日現在) |
|----------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 現金及び預金勘定 | 35,678,993 千円 | 34,842,768 千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 4,045,864 千円 | 1,801,721 千円 |
| 預入期間が3か月以内の公社貴投資信託(有価証券勘定) | 7,147,581 千円 | 10,487,025 千円 |
| 現金及び現金同等物 | 38,780,709 千円 | 43,528,072 千円 |

セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当社は事業の種類として「印刷機器関連事業」及び「その他の事業」に区分しておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産金額の合計額に占める「印刷機器関連事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 所在地別セグメント情報

前連結会計年度（自平成11年4月1日～至平成12年3月31日）

（単位 千円）

| | 日本 | 米州 | 欧州 | アジア | 合計 | 消去 | 連結 |
|-----------------|-------------|------------|------------|-----------|-------------|--------------|-------------|
| 売上高及び営業利益 | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 46,462,060 | 17,170,918 | 11,828,617 | 4,309,418 | 79,771,015 | - | 79,771,015 |
| (2)セグメント間の内部売上高 | 23,996,876 | 29,470 | 462,604 | 17 | 24,488,969 | (24,488,969) | - |
| 計 | 70,458,937 | 17,200,389 | 12,291,222 | 4,309,436 | 104,259,984 | (24,488,969) | 79,771,015 |
| 営業費用 | 63,338,111 | 16,689,702 | 13,157,436 | 4,604,656 | 97,789,906 | (24,925,411) | 72,864,495 |
| 営業利益又は営業損失（ ） | 7,120,826 | 510,686 | 866,214 | 295,220 | 6,470,077 | (436,442) | 6,906,520 |
| 資産 | 115,818,802 | 9,817,847 | 8,331,027 | 6,532,954 | 140,500,631 | (20,784,822) | 119,715,809 |

当連結会計年度（自平成12年4月1日～至平成13年3月31日）

（単位 千円）

| | 日本 | 米州 | 欧州 | アジア | 合計 | 消去 | 連結 |
|-----------------|-------------|------------|------------|-----------|-------------|--------------|-------------|
| 売上高及び営業利益 | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 43,933,681 | 15,878,688 | 11,900,477 | 6,551,422 | 78,264,270 | - | 78,264,270 |
| (2)セグメント間の内部売上高 | 19,140,078 | 9,962 | 355,048 | 204 | 19,505,294 | (19,505,294) | - |
| 計 | 63,073,760 | 15,888,650 | 12,255,526 | 6,551,627 | 97,769,565 | (19,505,294) | 78,264,270 |
| 営業費用 | 59,669,464 | 15,977,129 | 12,228,249 | 6,906,737 | 94,781,580 | (20,266,705) | 74,514,875 |
| 営業利益又は営業損失（ ） | 3,404,296 | 88,478 | 27,277 | 355,110 | 2,987,984 | (761,410) | 3,749,395 |
| 資産 | 116,194,916 | 10,438,565 | 7,955,024 | 6,256,676 | 140,845,184 | (17,578,469) | 123,266,715 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)米州.....米国、カナダ

(2)欧州.....ドイツ、イギリス、フランス

(3)アジア.....中国、タイ

(3) 海外売上高

前連結会計年度（自平成11年4月1日～至平成12年3月31日）

（単位 千円）

| | 米州 | 欧州 | アジア | 合計 |
|-------------------|------------|------------|-----------|------------|
| 海外売上高 | 17,171,428 | 12,025,527 | 7,057,184 | 36,254,140 |
| 連結売上高 | | | | 79,771,015 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合 | 21.5% | 15.1% | 8.8% | 45.4% |

当連結会計年度（自平成12年4月1日～至平成13年3月31日）

（単位 千円）

| | 米州 | 欧州 | アジア | 合計 |
|-------------------|------------|------------|-----------|------------|
| 海外売上高 | 15,878,688 | 12,018,712 | 9,002,983 | 36,900,383 |
| 連結売上高 | | | | 78,264,270 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合 | 20.3% | 15.3% | 11.5% | 47.1% |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)米州.....米国、カナダ

(2)欧州.....ドイツ、イギリス、フランス

(3)アジア.....中国、タイ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

リース取引関係

| | 当 期 〔自平成12年4月1日 至平成13年3月31日〕 | 前 期 〔自平成11年4月1日 至平成12年3月31日〕 |
|--|--|--|
| リース物件 の所有権が 借主に移転 すると認め られるもの 以外のファ イナンス・ リース取引 | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却 累計額相当額及び期末残高相当額 | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却 累計額相当額及び期末残高相当額 |
| | 取 得 減 価 期 末 価 額 償 却 残 高 相 当 額 累 計 額 相 当 額 相 当 額 | 取 得 減 価 期 末 価 額 償 却 残 高 相 当 額 累 計 額 相 当 額 相 当 額 |
| | 千円 千円 千円 | 千円 千円 千円 |
| | 機 械 装 置 及 び 運 搬 具 177,025 100,556 76,468 | 機 械 装 置 及 び 運 搬 具 225,295 145,287 80,007 |
| | 工 具 器 具 備 品 581,790 324,572 257,217 | 工 具 器 具 備 品 674,646 351,343 323,302 |
| | 合 計 758,815 425,129 333,686 | 合 計 899,942 496,631 403,310 |
| | 2. 未経過リース料期末残高相当額 | 2. 未経過リース料期末残高相当額 |
| | 1 年 内 145,246 千円 1 年 超 195,964 千円 合 計 341,211 千円 | 1 年 内 181,179 千円 1 年 超 235,413 千円 合 計 416,592 千円 |
| | 3. 当期の支払リース料、減価償却費相当額 及び支払利息相当額 | 3. 当期の支払リース料、減価償却費相当額 及び支払利息相当額 |
| | 千円 千円 | 千円 千円 |
| 支 払 リ ー ス 料 203,505 | 支 払 リ ー ス 料 241,220 | |
| 減 価 償 却 費 相 当 額 186,189 | 減 価 償 却 費 相 当 額 220,604 | |
| 支 払 利 息 相 当 額 12,420 | 支 払 利 息 相 当 額 18,002 | |
| 4. 減価償却費相当額の算定方法 | 4. 減価償却費相当額の算定方法 | |
| リース期間を耐用年数とし、残存価額を零 とする定額法によっております。 | 同 左 | |
| 5. 利息相当額の算定方法 | 5. 利息相当額の算定方法 | |
| リース料総額とリース物件の取得価額相当 額との差額を利息相当額とし各期への配分 方法については、利息法によっております。 | 同 左 | |
| オペレーテ ィング・リ ース取引 | 1. 未経過リース料 | 1. 未経過リース料 |
| | 1 年 内 44,549 千円 1 年 超 142,412 千円 合 計 186,961 千円 | 1 年 内 41,824 千円 1 年 超 48,601 千円 合 計 90,425 千円 |

関連当事者との取引

当連結会計年度（自平成12年4月1日 至平成13年3月31日）

（1）役員及び個人主要株主等

| 属性 | 氏名 | 住所 | 資本金 | 事業の内容又は業職 | 議決権等の所有（被所有）割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|----|-----|----|-----|-----------|-------------------|-------|--------|--------|-------------|----|------|
| | | | | | | 役員兼任等 | 事業上の関係 | | | | |
| 役員 | 羽山昇 | - | - | 当社代表取締役会長 | （被所有） 直接 6.71% | - | - | 事業所の賃借 | 千円 5,906 | - | - |

（注）1．取引金額には消費税等は含まれておりません。

取引条件及び取引条件の決定方針等

プリントテクノ理想神田店に係るものであり、不動産鑑定士の鑑定結果にもとづき、契約更新時に価格交渉の上決定しております。

税効果会計関係

当連結会計年度
(平成13年3月31日現在)

1. 繰延税金資産の主な原因別内訳

| | | |
|--------------------|-----------|----|
| 貸倒引当金損金算入限度額超過額 | 305,701 | 千円 |
| 未実現損益 | 1,016,909 | 千円 |
| 試験研究費否認 | 438,576 | 千円 |
| 有価証券評価損否認 | 219,414 | 千円 |
| 賞与引当金損金算入限度超過額 | 254,163 | 千円 |
| 未払事業税否認 | 154,347 | 千円 |
| 退職給付引当金損金算入限度超過額 | 226,211 | 千円 |
| 役員退職慰労引当金損金算入限度超過額 | 364,423 | 千円 |
| その他有価証券評価差額金 | 429,759 | 千円 |
| その他 | 893,869 | 千円 |
| 繰延税金資産小計 | 4,303,376 | 千円 |
| 評価性引当額 | 403,583 | 千円 |
| 繰延税金資産合計 | 3,899,792 | 千円 |

有価証券関係

(当連結会計期間) (平成13年3月31日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位：千円)

| | 取得原価 | 連結貸借対照表計上額 | 差 額 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| (1) 株 式 | 3,966,887 | 3,017,222 | 949,664 |
| (2) 債 券 | | | |
| 国債・地方債等 | - | - | - |
| 社 債 | - | - | - |
| そ の 他 | - | - | - |
| (3) そ の 他 | 5,451,135 | 5,379,994 | 71,140 |
| 合 計 | 9,418,022 | 8,397,216 | 1,020,805 |

2. 時価評価されていない主な「有価証券」

(単位：千円)

| | 連結貸借対照表計上額 |
|-------------------|------------|
| その他の有価証券 | |
| マネー・マネージメント・ファンド等 | 4,163,248 |
| 追加型公社債投資信託 | 3,283,592 |
| 非上場株式(店頭売買株式を除く) | 1,517,420 |

3. 当連結会計年度中に売却したその他有価証券(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)

(単位：千円)

| 売 却 額 | 売却益の合計 | 売却損の合計 |
|-----------|--------|---------|
| 3,876,501 | 4,001 | 131,892 |

デリバティブの契約額、時価及び評価損益

当連結会計期間（自平成12年4月1日 至平成13年3月31日）

1. 取引の状況に関する事項

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

（単位：千円）

| 対象物の種類 | 取引の種類 | 当連結会計年度（平成13年3月31日現在） | | |
|--------|--------|-----------------------|----|------|
| | | 契約額等 | 時価 | 評価損益 |
| 通貨 | 為替予約取引 | - | - | - |
| 合計 | | - | - | - |

（注）1. 「外貨建取引等会計処理基準」により、外貨建債権債務等に振り当てたデリバティブ取引については、注記の対象から除いております。

退職給付関係

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は適格退職年金制度及び退職一時金制度を設けており、また、従業員の退職等に際して割増退職金を支払う場合があります。

2. 退職給付債務に関する事項（平成13年3月31日現在）

| | （単位：千円） |
|----------------|-----------|
| 退職給付債務 | 5,963,515 |
| 年金資産 | 3,727,417 |
| 未積立退職給付債務（ + ） | 2,236,098 |
| 未認識数理計算上の差異 | 513,224 |
| 未認識過去勤務債務 | - |
| 合計（ + + ） | 1,722,873 |
| 前払年金費用 | - |
| 退職給付引当金 | 1,722,873 |

3. 退職給付費用に関する事項（自平成12年4月1日 至平成13年3月31日）

| | （単位：千円） |
|---------------------|---------|
| 勤務費用 | 463,221 |
| 利息費用 | 166,796 |
| 期待運用収益 | 155,151 |
| 会計基準変更時差異の費用処理額 | - |
| 数理計算上の差異の費用処理額 | - |
| 過去勤務債務の費用処理額 | - |
| 退職給付費用（ + + + + + ） | 474,866 |

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

| | |
|----------------|--|
| 退職給付見込額の期間配分方法 | 期間定額基準 |
| 割引率 | 3.00% |
| 期待運用収益率 | 4.00% |
| 数理計算上の差異の処理年数 | 定率法による15年償却 (発生時の翌連結会計年度から費用処理することとしております。) |
| 会計基準変更時差異の処理年数 | 1年 |

(4) 生産、受注及び販売の状況

生産実績

(単位：千円)

| 品 目 | 期 別 | 当 期 | 前 期 |
|----------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日) | (自平成11年4月1日 至平成12年3月31日) |
| 事務用印刷機関係 | | 57,567,745 | 61,163,477 |
| 簡易印刷機関係 | | 1,981,819 | 2,781,092 |
| 合 計 | | 59,549,564 | 63,944,570 |

- (注) 1. 金額は販売価格により算出しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

受注状況

当社グループは見込生産が主体で、受注生産は稀少であるため記載を省略しております。

販売実績

(単位：千円)

| 品 目 | 期 別 | 当 期 | 前 期 |
|----------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日) | (自平成11年4月1日 至平成12年3月31日) |
| 事務用印刷機関係 | | 75,109,630 | 74,596,720 |
| 簡易印刷機関係 | | 3,142,254 | 4,971,095 |
| そ の 他 | | 12,385 | 203,199 |
| 合 計 | | 78,264,270 | 79,771,015 |

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。